

第102号

慈照園

静岡県浜松市中区鴨江三丁目四一三
 (福) 遠州仏教積善会 慈照園
 TEL 〇五三-四五二-三〇六九
 FAX 〇五三-四五二-三〇七四
 url www.onyx.dti.ne.jp/~jishoen

居宅生活訓練開始から1年

5名が地域生活へ

26年度4月から開始した居宅生活訓練(施設で借り上げたアパートで生活

訓練を実施、円滑に地域移行できるようにする訓練)を利用し5人の利用者が退園されました。



毎日きれいにしています

が退園されました。今まで、地域生活(二人暮らし)に強い不安を持っていた利用者が、この訓練を利用することで、段階的に不安が解消されていき、地域移行に結び付きました。今後は、退園した方をどのように支援していくかが課題となります。

シリーズ自立支援

～漢方薬の活用～

1月22日、嘱託医である神経科浜松病院の井口博登医師を講師に依頼し、「漢方薬について」職員園内研修がおこなわれました。慈照

園では、精神疾患を抱えている人が多く、その多くが統合失調症です。漢方薬とは、伝統的な中国医学の一種である漢方医学の理論に基づいて処方される薬のことで、慈照園でも多くの方が服用しています。漢方薬の中でも抑肝散を服用し、イライラや興奮などの精神

症状が軽減されたと感じられた方がいます。精神疾患を抱える人は、何より服薬が一番重要だと言われています。服薬の管理が不十分で、入退院を繰り返す人も多くいます。服薬の重要さや利用者服用している薬について知識を深める研修となりました。

E-JAN WRAP 交流会

元気になる方法を考えましょう

2月27日NP
 ○法人遠州精神保健をすすめる市民の会(E-JAN)と交流会を行いました。テーマはWRAP(ラップ)。アメリカで生まれ、英語の元

障がい者もスポーツを

2月11日静岡県障害者スポーツ協会が主催する、トライアル教室に8名が参加しました。中区のアイホールで開催され、たくさんの方が運動を楽しむことができました。

フライングディスク、ボッチャ、バルバレーなど、インストラクター指導のもと和気藹々とした雰囲気での運動することができました。慈照園でも、クラブ活動として、ソフトボールやバレー、グラウンドゴルフなどを実施しています。今回参加した教室では、



深呼吸も有効です

気、回復、行動、計画の頭文字をとったもので、毎日心を元気に過ごすために、自分で日々の生活を組み立てていく方法です。慈照園からは利用者40名、デイサービス6

普段できないスポーツを体験し、利用者の多くがまた来年もやりたいと話していました。

外壁・屋根・トイレ 大規模修繕

慈照園の建物が建築されてから22年が経ちました。年月の過ぎたことを物語るように、外壁には、浮いているところや、ひび割れているところが見られ、地震時の外壁の落下や雨漏りに繋がりがかね

名が参加し、元気に役立つ方法を学ぶことができました。グループワークでは、支援員の方と一緒に学ぶことができ、職員にとっても、日々の個別支援計画を進めていく上で、良い経験になりました。

また、園内の設備も改修や整備が進んでいます。居室スペースがある2階の女性用トイレは、今まで和式と洋式一つずつでしたが、洋式に切り替わりましたが、和式では足腰がつかないという利用者も膝がつかなくなってきたと話しています。新しい設備と共に、より良い支援をしていければと考えております。

たま

聖隷が社会福祉士会福祉学部を開設して10年以上、学生は「自分が利用者さんに助けられていること」

専門職である前に

「人として」必要なもの

聖隷クリスティア大学

准教授 福田俊子

貴施設には社会福祉士の資格習得を目指す学生の習得を引継ぎ受けていただいています。今年もお世話になりました。今年も6名が大学を巣立って行きました。実習が始まった直後、学生は自分の居場所を見つけれず、強い不安や緊張を抱えます。そんな

「気づき、援助とは、皆さんから学ばせて頂いているのです。この場を借りて、利用者の皆さまに改めて感謝申し上げます。」

た専門職としての「人として」謙虚な姿勢で人と向き合うことの重要性を、みな

